（2021.6）
（情報公開文章用）　　作成日　2025 年 4 月 1 日
第IV版作成

2005 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に
当院において検体検査（血液検査・一般検査等）を受けられた方へ

―「検査診断特性データベースを用いた診断支援システムの構築」へのご協力のお願い―

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者　　川崎医療福祉大学　医療福祉マネジメント学部医療データサイエンス学科
教授　　片岡浩巳
（川崎医科大学附属病院　中央検査部　臨床検査技師　片岡浩巳）
研究分担者　　川崎医療福祉大学　医療技術学部臨床検査学科　講師　　中原貴子

１．研究の概要

検体検査（血液検査や一般検査等）結果と診療記録（病歴や投薬イベント）をデータベース化することにより、より安価で効率的な診断法の発見や、診断ミスの防止に役立てることが可能となります。診断支援や医学教育に利用可能な知識データベースの開発のための後方視的調査研究を実施します。

２．研究の方法

1）研究対象者

2005 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に川崎医科大学附属病院において検体検査を受けられた方、約 40 万名を研究対象とします。

2）研究期間

2019 年 8 月 16 日～2027 年 3 月 31 日

3）研究方法

2005 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に当院において CBC 検査を受けられた方で、研究者が診療情報（検査歴、病歴、薬歴のデータ）を選び、病気の発症や治療などの様々な要因やイベントにおけるパターン類似性の視点でネットワーク図を作成します。

4）使用する情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、検査歴　等

5）　外部への情報の提供

本研究により得られた解析結果のみを川崎医療福祉大学に提供いたします。

6）　情報の保存

この研究に使用したデータは論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学附属病院中央検査部情報室内、および川崎医療福祉大学で保存させていただきます。また、電子情報の場合はパスワード等で制御されたコン

ピューターに保存し、その他のデータは施錠可能な保管庫に保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名や住所などの個人を特定できる情報は除外した上で、さらに、匿名化された状態のデータを使用するため、あなたを直ちに特定できる情報は取得しません。したがって、特定の情報の削除を要求されたとしても研究データから要求されたデータを特定できませんので、削除することはできません。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025 年 6 月 30 日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

＜問い合わせ・連絡先＞

川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 医療データサイエンス学科
氏名：片岡 浩巳
電話：086-462-1111　内線 54925（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）
E-Mail：kataokah@mw.kawasaki-m.ac.jp

＜研究組織＞

研究代表機関名　川崎医療福祉大学
研究代表責任者　川崎医療福祉大学　医療福祉マネジメント学部 医療データサイエンス学科
教授　片岡　浩巳
共同研究機関　　川崎医科大学附属病院

３．資金と利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究は、共同研究費（2024 年 3 月まで）および教員研究費を用いて実施されます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学および川崎医療福祉大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。

また、研究終了後は研究成果を発表いたします。研究成果の発表に際しても、本研究に関する利益相反について明らかにした上で発表いたします。